

数値予報研修テキスト 平成16年度 非静力学数値予報モデルの現業化	気象庁予報部	気象業務支援センター	2004.10	¥1,524		気象業務支援センター TEL：03-5281-0440 FAX：03-5281-0445 URL：www.jmbsec.or.jp
Q & A 天気なんてだ らう劇場	岩田総司	岩崎書店	2004.11	¥1,200	4-265-82000-X	
気象予報士試験 問題と正解 平成16年度第1回	気象庁予報部	気象業務支援センター	2004.11	¥1,600		気象業務支援センター TEL：03-5281-0440 FAX：03-5281-0445 URL：www.jmbsec.or.jp

注：表中で定価はすべて本体価格です（特記したものを除く）。



宇宙からの地球観測講演会「高解像度センサによる宇宙からの地球観測 —新しい文化の創造を目指して—」のお知らせ

人工衛星からの高解像度センサで得られた地球環境の様々な映像は、様々な知見を見る者に与えてくれます。最先端の宇宙工学が他の分野の科学、とりわけ社会科学と融合することによって宇宙考古学のような新しい文化が創造されることも夢ではありません。この度、宇宙からの地球観測講演会を企画しました。興味をお持ちの方は、ぜひご参加ください。

題 目：宇宙からの地球観測講演会

「高解像度センサによる宇宙からの地球観測
—新しい文化の創造を目指して—」

日 時：2005年1月13日（木）午後1時30分より午後5時30分まで

会 場：大阪府立大学学術交流会館多目的ホール
（大阪府堺市学園町1-1）
新幹線新大阪駅より地下鉄御堂筋線
なかもず駅下車徒歩15分

趣 旨：我が国が世界に誇る宇宙からの光学センサ技術（ASTER）と合成開口レーダ技術（PAL-

SAR, PI-SAR)を取り上げそれらについての最先端の技術の現状、ならびにそれらの技術が宇宙考古学などの新しい文化を創造する可能性について併せて紹介する。

主 催：（社）日本リモートセンシング学会、（独）情報通信研究機構（NICT）、大阪府立大学大学院工学研究科

後 援：（財）資源・環境観測解析センター（ERS-DAC）、
（独）宇宙航空研究開発機構地球観測利用推進センター（JAXA/EORC）

その他：会費無料

問い合わせ先：岡本謙一、
大阪府立大学大学院工学研究科航空宇宙工学分野
Tel/Fax：072-254-9241

e-mail：okamoto@aero.osakafu-u.ac.jp

HP：http://www.aero.osakafu-u.ac.jp/as/
okamoto/index.html